



日鉄セメント 会社案内



21世紀の夢のため…

私たちは、人・環境そして
地球に優しい製品をつくり続けます。



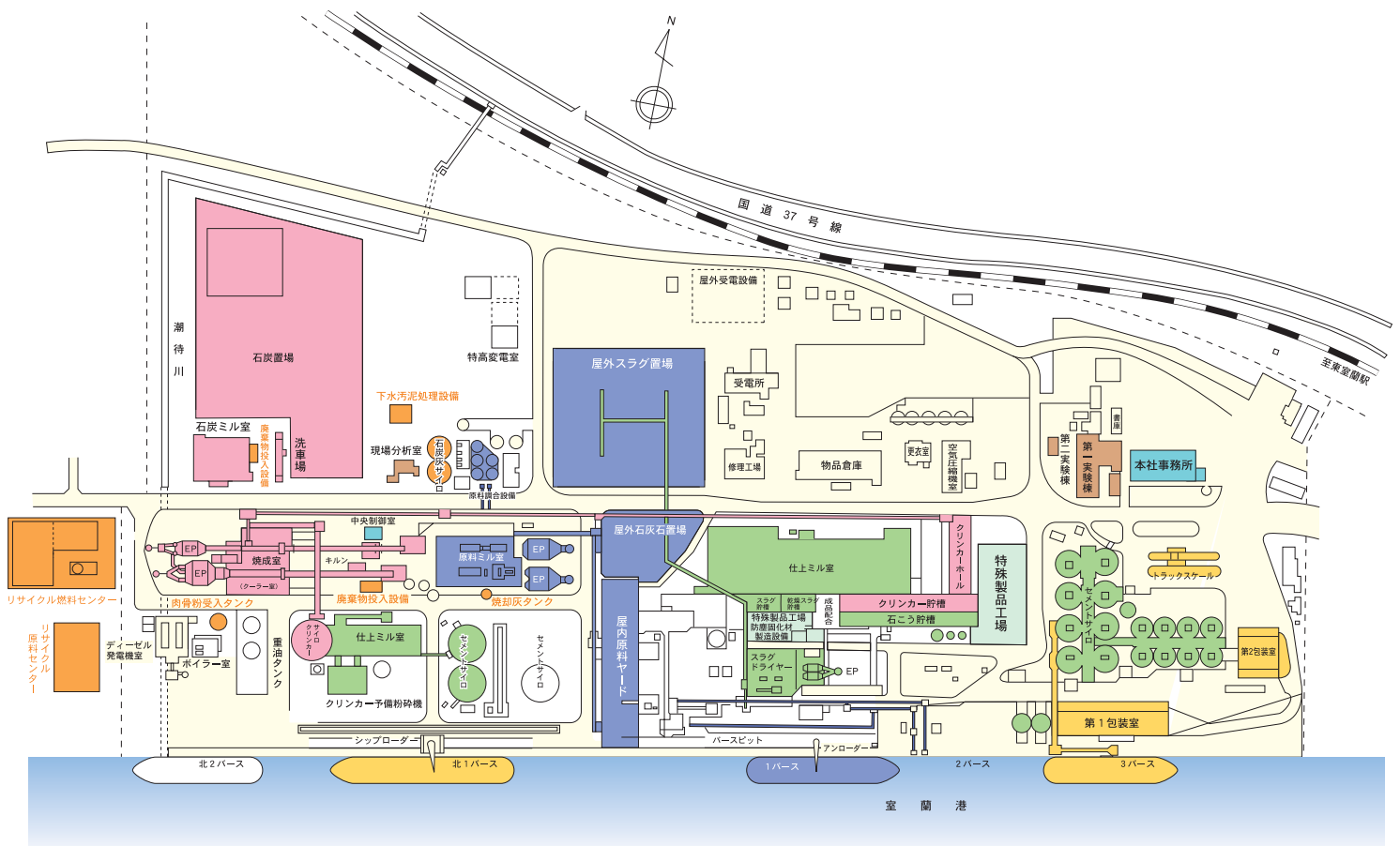
会社概要

設立年月日 1954年6月28日
資本金 15億円
株主 日本製鉄(株)・住友大阪セメント(株)
年産能力 160万トン
工場敷地面積 229,000m²

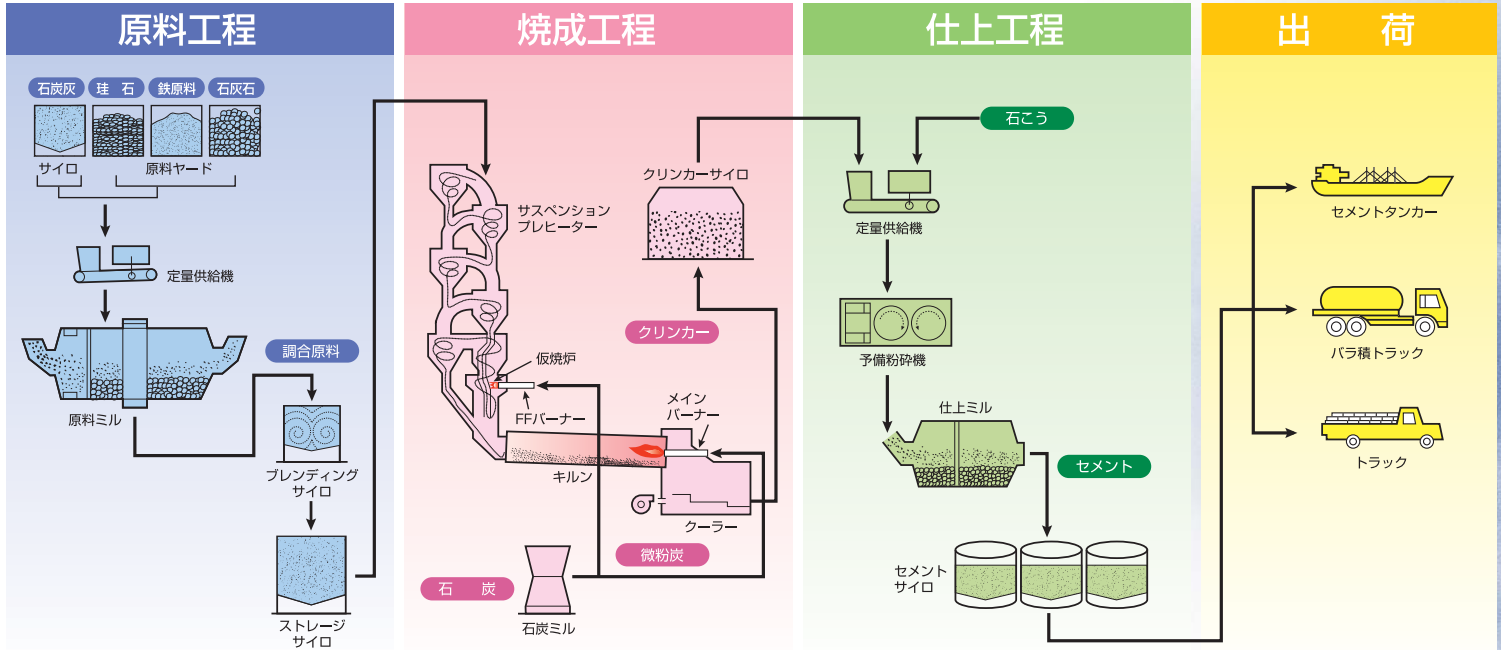
沿革

当社は、昭和29年6月、富士製鐵（現.日本製鉄）株式会社と磐城セメント（現.住友大阪セメント）株式会社の共同出資により設立されました。以後、“高炉セメント”を主力製品として、白鳥大橋やダムなどの大型プロジェクトを縁の下で支えています。他にも、セメントとは異なる特殊製品（注入材・セメント系固化材・補修材等）を数多く開発・市場に送り出し、業界中堅メーカーとしての地位を確立しています。

工場配置図



セメント製造フロー



原料工程



主原料の石灰石と石炭灰、珪石、鉄原料を調合計量して、原料ミルで微粉砕します。粉砕された原料はブレンドサイロで均一に混合され、ストレージサイロを通して次の焼成工程へ送り込まれます。

焼成工程



原料粉末はサスペンションプレヒーターの上部へ送られ、予熱されながらキルン（回転窯）へ入り、約1450℃で焼成されることで、クリンカー（粒状の小塊）となります。高温のクリンカーはクーラー室で急冷された後、クリンカーサイロで貯蔵されます。焼成工程では、石炭ミルで微粉砕された石炭が主要原料として使われています。

仕上工程



クリンカーサイロから引き出したクリンカーと共に、石こうを仕上ミルで粉砕したものがポルトランドセメントです。製造されたセメントは各セメントサイロに貯蔵され、出荷の日を待ちます。

セメント製造の全工程は、中央制御室において、汎用パソコンを使用した制御システムにより集中監視されています。これにより省力化はもちろん、品質や操業の安定化を実現しています。

当社では、常に安定した品質の製品が提供できるようにISO9001の認証を受けた品質マネジメントシステムに基づく厳しいチェックを各工程毎に行なっています。

セメントは専用タンカーやトラックにより、各地に点在する中継基地（SS）やユーザーの元に届けられます。工場からの出荷の約7割は専用タンカーによって行なわれています。



中央制御



品質管理



出荷

取扱製品・施工実績

各種セメント

(主な営業エリア：北海道・東北)

混合セメント

- 高炉セメントA種
- 高炉セメントB種
- ダム用高炉セメント
- 低熱型特殊高炉セメント
- 超低熱型特殊高炉セメント
- ダム用中庸熟フライアッシュセメント
- フライアッシュセメントB種

ポルトランドセメント

- 普通ポルトランドセメント
- 早強ポルトランドセメント
- 低熱ポルトランドセメント
- 中庸熟ポルトランドセメント
- 耐硫酸塩ポルトランドセメント

スーパーファイン
高炉セメント

海外

特殊製品

(主な営業エリア：全国)

- 注入材／日鐵コロイド、コロイドSQ-A
日鐵スーパーファイン、日鐵スーパーファイン-L
日鐵スーパーファイン-X3、HNP-1500
- セメント系固化材／日鐵アースタイト
- 防塵固化材／日鐵アースタイト・プラス
- 高強度・高耐久性コンクリート材／NEM
- 補修材／NEM-RS、NEM-R1、ハイスタッフ
ハイガード、ハイフレント
- 舗装材／ペーブラン
- その他／スピリッツ（高炉スラグ微粉末）
石灰石粉（道路用・中和用・排脱用）



青函トンネル



(日鐵コロイド：岩盤止水)

白鳥大橋



(LE：主塔基礎)

美利河ダム



(SF：基礎処理、止水)

小樽運河



(ET：ヘドロ固化)

環境保全

当工場は、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用することで、企業活動に伴う環境への負荷をできるだけ低減するよう努めています。大型の電気集塵機やバグフィルタの設置など、万全の粉塵対策を講じているのはもちろんのこと、21世紀の課題である「地球環境保全」に向けた取組みを積極的に推進しています。

地域社会とともに… 資源循環型社会を支える日鉄セメント

当社は現在、セメント産業が資源循環型社会構築の一翼を担い得る「静脈産業」であるとの認識の下、火力発電所で発生する石炭灰を始め下水汚泥や肉骨粉など、約80種類にも及ぶリサイクル資源を処理しています。約1450℃という高温の「キルン」を用いて焼却・焼成する当社の方式は、通常の焼却炉での処理と比べ…

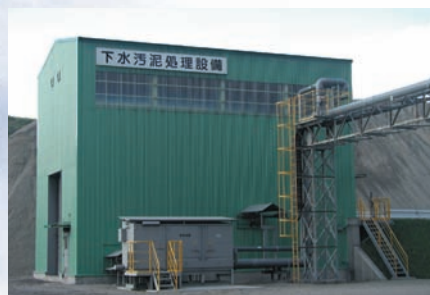
1. 焼却後の灰もセメントの原料として取り込まれるため、最終処分（埋め立て等）が必要ない。
2. ダイオキシンの発生等、二次公害の心配がない。
(この温度帯ではダイオキシンは完全に分解される)

というメリットがあります。

これこそがセメント産業の持つ高いポテンシャルであり、静脈産業と言われる所以です。今後とも現状に満足することなく、リサイクル資源の活用拡大に向けた取組みを積極的に行ない、地域との共生・社会への貢献を図っていききたいと考えています。

環境への負荷を大きく低減 高炉セメントは環境優良児

当社の主要製品である「高炉セメント」は、鉄鉄を製造する際に副産物として生成される高炉スラグを配合したセメントであり、当社が創業以来造り続けているセメントです。建築・土木工事等において一般的に使われている普通ポルトランドセメントと遜色のない性能を有するだけでなく、資源・エネルギー・CO₂発生量を削減できる、正に環境にやさしい製品「環境優良児」なのです。高炉セメントの持つ高い環境特性は、国が定める循環型社会形成推進基本法の一つである“グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）”において特定調達品目として登録されたことから、既に立証済みと言えます。



●下水汚泥処理設備



●廃プラ処理設備

CO₂排出量

45%削減

製造時
エネルギー

石灰石
資源



日鉄セメント株式会社

本社・室蘭工場 〒050-8510 室蘭市仲町64番地
<https://www.cement.nipponsteel.com>